桜井市監査委員公表第 2 号

令和 6 年度定期監査（第三次）結果について

地方自治法第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定により定期監査を執行したので、その結果を同条第 9 項により別紙のとおり公表する。

令和 7 年 3 月 25 日

桜井市監査委員 今西 秀仁
同 札辻 輝巳

監査結果報告

1. 監査方針

本監査については、行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に努めるため、桜井市監査基準に基づき監査を実施しました。

2. 監査の種類

定期監査(地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項による監査)

3. 監査の対象及び期間

監査内容	令和6年12月1日現在の監査資料による
監査期間	令和7年1月7日から令和7年2月18日まで
対象部課	市長公室 秘書課 行政経営課 危機管理課 総務部 管財契約課 環境部 環境総務課 業務課 施設課 まちづくり部 観光まちづくり課 出納課 監査委員事務局 上下水道部 経営総務課 上水道課

4. 監査等の着眼点

市の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で最小の経費で最大の効果を上げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているかを主眼として監査を実施しました。

*以下の着眼点により監査を実施しました。

①組織、人事配置について	・ 事業運営上不合理な点は無いか ・ 職員の勤務状況は適正か
②予算の執行状況、収納事務、支出事務について	・ 会計区分、年度区分、予算科目を誤っていないか ・ 調定の時期及び手続は適正か ・ 支出負担行為は法令等に違反していないか ・ 支出目的、履行を確認できる資料が整理されているか ・ 旅費、超過勤務手当については支給額の算定根拠となる日数、時間数は関係記録と合致しているか
③契約事務(委託・工事)について	・ 適正な方法により契約を行っているか ・ 随意契約理由は適正か ・ 契約の履行確認は適正に行われているか
④負担金、補助金の執行について	・ 支出対象、支出金額は適正か ・ 補助金については実績報告に基づく成果の確認が行われているか
⑤公の施設の管理について	・ 指定管理者の指定は適正、公正に行われているか ・ 協定書等に必要事項が適正に記載されているか ・ 管理に関する経費の算定、支出方法、手続等は適正か
⑥財産の管理について	・ 備品台帳に登録されているか ・ 物品は正しく管理され整理されているか
⑦公金等の保管状況について	・ 収納金、釣銭等の現金の保管及び取り扱いは適正か ・ 郵便切手やはがき等の保管は適正且つ差引簿と合致しているか

5. 監査等の実施内容

本年度の監査計画に基づき、事前に対象部課からそれぞれ資料の提出を求め、関係書類及び諸帳簿を照合するとともに、監査当日に関係職員から事情聴取し、事務事業の執行が適正且つ効果的、効率的に行われているかを主眼として監査を実施しました。

6. 監査の結果

監査を実施した範囲においての事務の執行処理状況等は、関係法令等に基づき概ね適正且つ効率的に執行・処理されていると認められ、軽易な留意事項は口頭により、指摘しました。

次の通り一部において改善・検討を要する事項が見受けられ、該当する各所属長及び担当職員に所見を申し述べるとともに、指導を行いました。今後これら指摘事項には十分留意するとともに、尚一層慎重な事務処理を望むものであります。

その主なものは、次のとおりになります。

(1) 負担金補助及び交付金事務について

ア. 各種負担金が高額の場合、算出根拠にて適正金額かどうか判断して支払いされたい。

(各課 共通事項)

(2) 財産(及び備品)の取得及び喪失について

ア. 所有している物について管理を徹底し、登録・廃棄(処分)については遅滞なく処理していただきたい。

(各課 共通事項)

(3) その他

ア. 契約事務及び伝票の起票等については、適正な運用をしていただきたい。

(各課 共通事項)

イ. 切手について、種類別に受払簿を作成し、購入及び使用履歴を記入の上、残枚数の確認ができるように管理されたい。

(各課 共通事項)

ウ. 来庁者用に EV 充電器が設置されているが、未だ使用されていないようなので、市民に対し、周知等を行い誰でも使用できるようにしていただきたい。

(管財契約課)

エ. 令和 7 年 4 月から水道事業が企業団に移行するが、市民サービス低下にならないように努めていただきたい。

(経営総務課・上水道課)